



感染症の拡大が見られました

暖かな日差しに春の訪れを感じるこの頃。しかし一方で、インフルエンザの感染症拡大に伴う学年閉鎖、学級閉鎖がありました。卒業式への参加が決まっていた2年生も在校生代表を除いて、希望者のみ卒業生の見送りに参加する形になりました。

感染症防止のため、難聴学級でも原則として教員はマスクをつけての指導を行いました。ご心配をおかけしましたが、各行事を無事に行うことができました。



自立活動報告



2月28日に自立活動「高校入試について」を行いました。前半は中村先生の都内にある都立高校、私立高校の学校の数や受験料の違いをはじめとした説明。そして後半はK君による「自分の受験の経験から、後輩たちに伝えたいこと」についての話の二本立てで行いました。

授業の中でN君からの「受験の中で何が一番大変でしたか?」という質問にK君は「僕が一番難しかったことは受験校選びでした。」と答えていました。

また、Iさんは自立活動を通して「自分の将来の夢を叶えるためには、高校に進んだ後は大学、または専門学校、どっちがいいんだろう?」と自分の将来の夢から進学先について考える場面がありました。1年生・2年生は先生・先輩の話を真剣に聞き、自分の将来の進路について考えることができました。

合唱コンクール



3月11日に合唱コンクールが行われました。

2年生のN君ははじめの言葉を担当し「目指すは金賞と、皆さんが今日の日に向けて練習をしてきたと思います。成果を出すために全力で歌いましょう。」と開会式で述べました。また、合唱コンクールでは外部団体の方に要約筆記を依頼しました。スクリーンに映されたスライドでは合唱曲のイメージ写真による華やかなタイトル画面などの工夫がされていた

いました。ホールには日々の練習の成果が伝わる力強い歌声がホールいっぱい響いていました。

卒業式

3学年は3月19日、卒業式を迎えました。新型コロナウイルスによって制限のある生活や、運動会、校外学習では天候が優れない日が続き、様々なことのあった学年ですが卒業式当日は午後になるにつれて天候も良くなり、卒業生たちの新たな門出を祝うようでした。

3年生のK君は式の卒業証書授与の際に大きな声で返事をし、来賓の方へのお辞儀もこなれた様子で行い3年間での成長した姿がありました。

また、K君からは後輩たちに向けて難聴学級の伝統である卒業生の作文のメッセージが残されました。



「3年間は『あっ』という間です。受験は選択肢が多く選ぶのが大変です。なので、先生の言うことを聞いて早めにしらべておくとうれしいです。そして、提出物も早めにできるならやっておいたほうが良いです。それが後輩に送るメッセージです。3年間お世話になりました。」～メッセージより一部抜粋～